



2022年3月期 第2四半期決算報告 2022年3月期 業績見通し



コ ー プ : 5 9 8 5

2021年11月12日

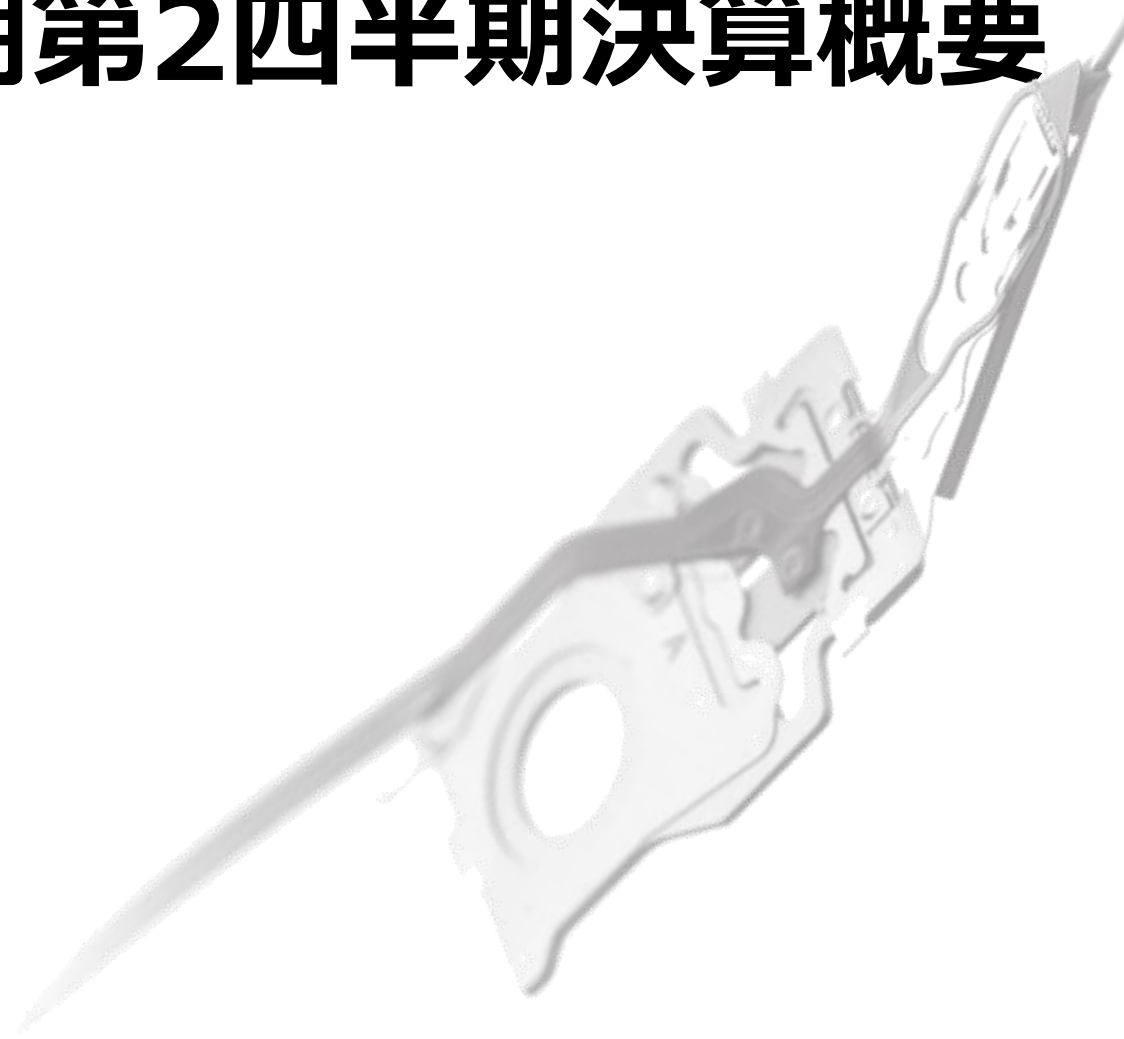
©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

A partial view of a grey gear with teeth, located in the top-left corner of the slide.

1.2022年3月期 第2四半期決算概要

2.2022年3月期 業績見通し

2022年3月期第2四半期決算概要



2022年3月期 第2四半期決算のポイント

- **売上高** 23,502百万円（前年同期比+6,665百万円、+39.6%）
- **営業利益** 476百万円（前年同期：▲1,305百万円）

黒字転換。新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復傾向が継続
自動車分野、電子情報通信分野ともに前年同期比大幅増収

自動車分野

前年同期売上比+4,790百万円（+44.1%）

* 材料関連

弁ばね用材料や精密異形材料の売上が大きく回復

* 自動車関連

半導体不足の影響を受けるも、自動車生産の回復基調継続により回復

電子情報通信分野

前年同期売上比+2,014百万円（+37.0%）

* HDD用サスペンション

データセンター投資増に伴う需要が高水準で継続

* プリンター関連

リモートワークに伴う家庭用特需が継続

2022年3月期 第2四半期 決算概要

- 売上高 新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復し、前年同期比+6,665百万円の増収。自動車分野では回復傾向が続いているが、半導体不足による自動車生産の減損影響が発生している。電子情報通信分野の需要は高水準を維持。
- 営業利益 増収に伴い営業利益476百万円。前年同期比+1,782百万円の収益改善で黒字転換
- 経常利益 上記営業利益改善に加え、メキシコ子会社の為替差益発生（145百万円）

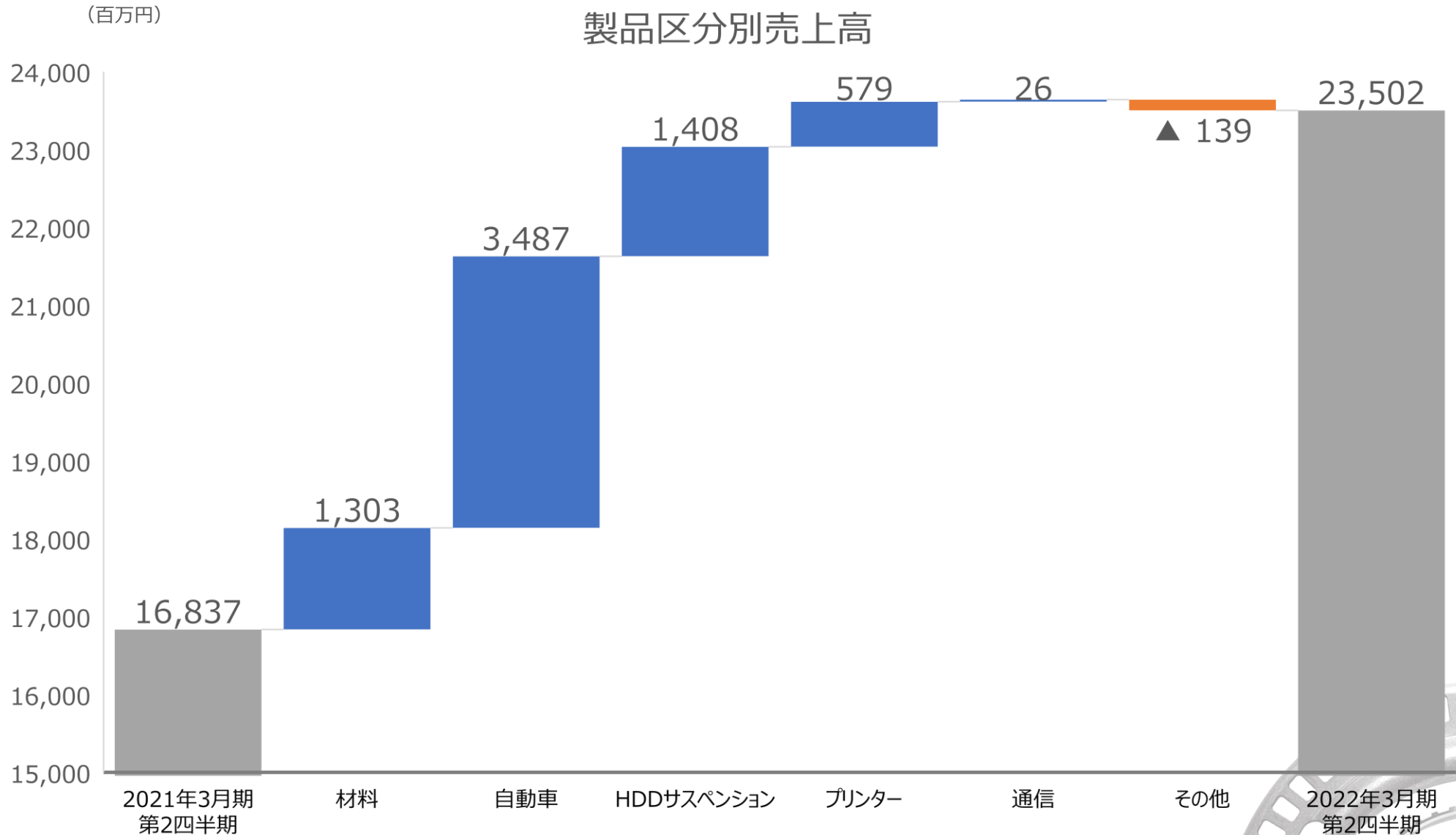
(百万円)	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期					
		実績	上期計画 (8/5公表値)	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	上期計画比 増減額
売上高	16,837	23,700	23,502	+6,665	+39.6%	▲198	▲0.8%
営業利益	▲1,305	440	476	+1,782	-	+36	+8.2%
経常利益	▲1,360	580	650	+2,010	-	+70	+12.1%
当期純利益	▲1,016	430	454	+1,471	-	+24	+4.6%
一株当たり利益	▲32.14	13.68	14.36	+46.50	-	+0.68	+4.9%
平均為替レ-卜	106.9円/ドル 121.3円/ユーロ	107.2円/ドル 126.5円/ユーロ	109.8円/ドル 130.9円/ユーロ				

2022年3月期第2四半期 製品区分別売上

- 自動車分野
 - 材料関連 : 弁ばね用材料や精密異形材料の売上が大きく回復し、前年同期比+61.9%増収
 - 自動車関連 : 東南アジアでの新型コロナ再拡大による部品調達不足を背景に自動車生産の減産の影響を受けるも、前年同期比で全製品の売上が回復し、+39.9%増収。
 - 特に電動車用バスバーは大きく伸長
- 電子情報通信分野
 - HDD用サスペンション : データセンター投資高水準で需要堅調、前年同期比+39.9%増収
 - プリンター関連 : 家庭用特需の継続により、前年同期比+41.6%増収
- その他
 - 携帯電話部品 : 昨年12月で生産終了により、減収

(百万円)	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期				
	実績	上期計画 (8/5公表値)	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	上期計画比 増減額	上期計画比 増減率
売上高	16,837	23,700	23,502	+6,665	+39.6%	▲198	▲0.8%
自動車分野	10,855	16,300	15,646	+4,790	+44.1%	▲654	▲4.0%
材料	2,105	3,400	3,409	+1,303	+61.9%	+9	+0.3%
自動車	8,749	12,900	12,237	+3,487	+39.9%	▲663	▲5.1%
電子情報通信分野	5,448	7,100	7,462	+2,014	+37.0%	+362	+5.1%
HDD用サスペンション	3,529	4,700	4,937	+1,408	+39.9%	+237	+5.0%
プリンター	1,394	1,900	1,974	+579	+41.6%	+74	+3.9%
通信	524	500	550	+26	+5.0%	+50	+10.0%
その他	533	300	393	▲139	▲26.1%	+93	+31.0%

製品区分別売上高要因分析（前年同期比）



2022年3月期 第2四半期 決算概要 (四半期)

Q1/Q2比較

■ 営業利益減少

積極的な戦略投資の完了に伴う減価償却費の増加
 自己株式公開買い付け(TOB)による経費の増加
 鋼材価格の高騰による製造コストの増加
 (下期売価反映を促進)

約△0.6億円
 約△0.2億円
 約△0.9億円

(百万円)	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	1Q比 増減額	1Q比 増減率
売上高	7,964	8,872	11,767	11,537	11,726	11,776	+49	+0.4%
営業利益	▲745	▲560	87	▲75	323	153	▲170	▲37.9%
経常利益	▲876	▲484	246	114	404	246	▲158	▲60.9%
当期純利益	▲680	▲336	225	852	270	184	▲86	▲46.7%
平均為替レ－卜	107.6円/ドル	106.2円/ドル	104.5円/ドル	105.9円/ドル	109.4円/ドル 131.9円/ユーロ	110.1円/ドル 129.8円/ユーロ		

2022年3月期第2四半期 地域別売上

- 日本 自動車分野：新型コロナ影響による自動車生産・販売の落込みから回復し+2,279百万円増収
- 米国 自動車関連：メキシコ子会社、米国子会社の材料関連製品および自動車関連製品ともに回復基調が継続し、前年同期比+611百万円増収
- 中国 自動車分野：新型コロナ感染拡大の影響から回復し大幅増収
- フィリピン HDD用サスペンション：データセンター投資増に伴う需要増加継続
- その他 HDD用サスペンション：タイ向けの納入増加他

(百万円)	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期第2四半期		
	実績	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	16,837	23,502	+6,665	+39.6%
日本	6,807	9,087	+2,279	+33.5%
米国	1,370	1,982	+611	+44.6%
中国	1,723	2,740	+1,016	+58.9%
フィリピン	3,159	4,344	+1,185	+37.5%
その他	3,775	5,348	+1,572	+41.7%

2022年3月期第2四半期 連結貸借対照表

- 固定資産増加 : HDDサスペンションや自動車関連への能力増強投資により有形固定資産+1,441百万円
株価下落により投資有価証券▲473百万円
- 流動負債増加 : 短期借入金+1,152百万円, 買掛金+542百万円
- 純資産減少 : 当期純利益+454百万円, 配当金▲352百万円, 投資有価証券評価差額▲329百万円
為替換算調整勘定+583百万円, 自己株式(公開買付他)の増加▲698百万円
(自己資本比率は66.3%を維持)

(百万円)		2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期末			
			実績	実績	前期末比増減額	
流	動	資	産	25,207	25,178	▲29
	現	預	金	7,570	6,565	▲1,004
	売	上	債	9,996	10,423	+426
	棚	卸	資	6,465	7,368	+902
固	定	資	産	28,167	29,058	+890
総	資	産		53,375	54,236	+860
負	債	合	計	17,054	18,244	+1,189
流	動	負	債	13,781	15,318	+1,536
	有	利	子	2,802	3,788	+985
固	定	負	債	3,272	2,925	▲347
	有	利	子	1,541	1,342	▲199
純	資	産	合	36,320	35,992	▲328
負	債	純	資	53,375	54,236	+860

2022年3月期第2四半期 キャッシュ・フローの状況

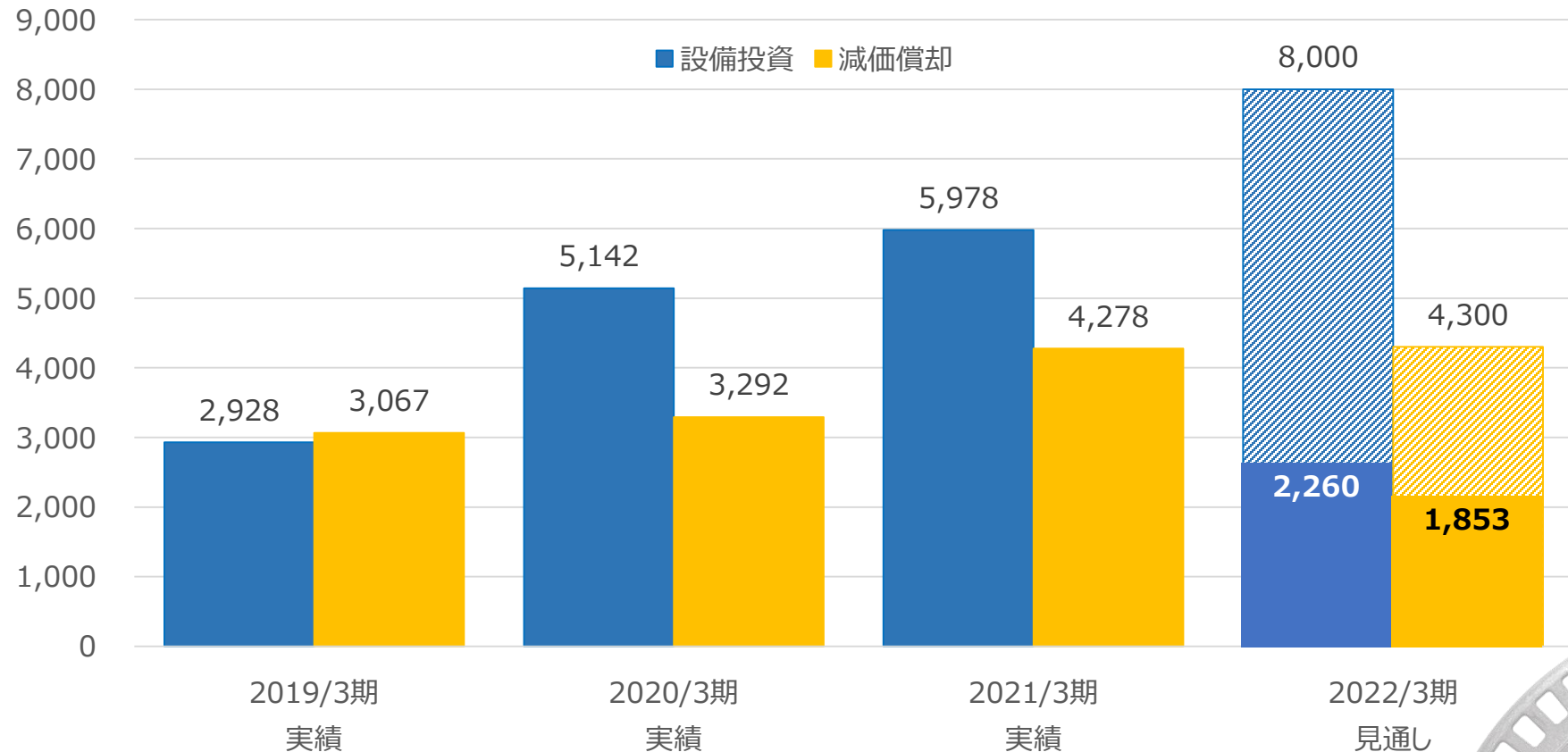
- 営業C/F : 税引前当期純利益が前年同期比+2,015百万円増加
- 投資C/F : HDD用サスペンションを中心に高水準の設備投資を継続
- 財務C/F : 自己株式（公開買付他）の取得により▲704百万円減少

(百万円)	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	
	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲425	2,143	+2,568
税引前当期純利益	▲1,374	640	+2,015
減価償却費	1886	1,853	▲33
売上債権・仕入債務増減	▲58	205	+263
棚卸資産増減	▲747	▲713	+33
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,747	▲2,868	▲120
有形固定資産取得	▲2,720	▲2,816	▲95
財務活動によるキャッシュ・フロー	184	▲474	▲658
短期借入金増減	552	1,096	+543
長期借入金増減	101	▲415	▲517
自己株式の取得	—	▲704	▲704
配当金支払	▲351	▲351	0

2022年3月期 設備投資・減価償却の状況

- 上期は自動車分野・HDD用サスペンションを中心に22.6億円の設備投資を実施
- 新製品・成長製品への投資継続
 (HDD用サスペンションの増産および次期製品関連投資で下期約40億円を予定しており
 年間設備投資は変更無し、但し減価償却費計画は一部完成遅れにより当初計画から▲2億円)

(百万円)



※上記設備投資額については完成ベース

2022年3月期通期業績見通し



2022年3月期 業績見通しのポイント

過去最高売上高、各分野で回復傾向は継続

- **売上高 47,600百万円** : 前期比+7,460百万円 (+18.6%)
- **営業利益 650百万円** : 前期比+1,943百万円

下期予想については、足元、東南アジアでの新型コロナ拡大による部品調達不足を背景とした自動車生産の減産の影響や、半導体不足や鋼材価格高騰等の不確定要素があるものの、8月5日の上方修正予想を据え置く

自動車分野

前期売上比+5,161百万円 (+19.1%)

* 材料関連 * 自動車関連 :

東南アジアでの新型コロナ拡大による部品調達不足を背景とした自動車生産の減産影響(9,10月を底に、12月は当初計画以上に回復を見込む。国内1~3月は挽回を予想)重点戦略製品の拡販(バスバー、ローターコア他)

電子情報通信分野

前期売上比+2,594百万円 (+21.4%)

* HDD用サスペンション :

データセンター投資増で需要は高水準

* プリンター関連 :

家庭用向け好調継続も3Q(7~9月)は東南アジア新型コロナ拡大による顧客減産影響を受け一時的に減少

2022年3月期 業績見通し

- 売上高 自動車生産回復およびHDD用サスペンションの増加により、前期比+7,460百万円
- 営業利益 増収に伴い、前期比+1,943百万円の増益

(百万円)	2021年3月期		2022年3月期			
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想 (2021年8月5日修正)	前年通期 実績比 (額)	前年通期 実績比 (率)
売上高	40,140	23,502	24,098	47,600	+7,460	+18.6%
営業利益	▲1,293	476	174	650	+1,943	—
経常利益	▲1,000	650	200	850	+1,850	—
当期純利益	61	454	256	710	+649	+1,063.9%
一株当たり利益	1.95円	14.36	8.53円	23.12円	+21.17円	+1,085.6%
平均為替レ-	106.1円/ドル	109.8円/ドル	110.0円/ドル	109.9円/ドル		
	123.7円/ユーロ	130.9円/ユーロ	130.0円/ユーロ	130.5円/ユーロ		

2022年3月期 製品区分別売上高見通し

- 自動車分野**

世界的な半導体不足による自動車減産影響を受けるが、前期比増収見込み
 材料関連 : 自動車生産の回復による増加、欧州向け拡販
 自動車関連 : 自動車生産の回復による増加、重点製品拡販(バスバー、ローターコア他)
- 電子情報通信分野**

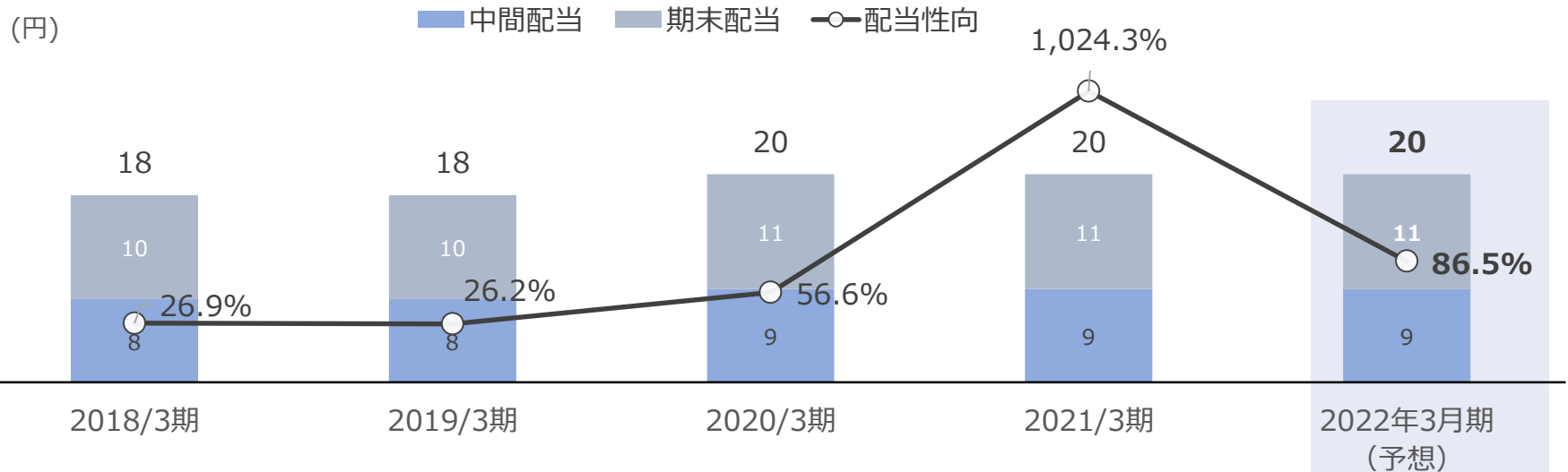
データセンター向け投資に旺盛な需要が継続
 HDD用サスペンション : データセンター投資に伴う需要増加継続
 プリンター関連 : 在宅勤務増加に伴う家庭用特需が継続

(百万円)	2021年 3月期	2022年3月期		
	通期実績	通期予想	前期比	
売上高	40,140	47,600	+7,460	+18.6%
自動車分野	27,039	32,200	+5,161	+19.1%
材料関連	5,399	6,500	+1,101	+20.4%
自動車関連	21,639	25,700	+4,061	+18.8%
電子情報分野	12,106	14,700	+2,594	+21.4%
HDD用サスペンション	7,871	10,200	+2,329	+29.6%
プリンター関連	3,271	3,400	+129	+3.9%
通信関連	963	1,100	+137	+14.2%
その他	995	700	▲295	▲29.6%

2022年3月期 配当方針

- 将来に向けた積極投資の継続により利益水準は低いものの、回復途上
⇒「中期経営計画GGP21」の安定配当方針に則り、引き続き年間配当20円を予定

配当方針	当期純利益が	配当下限目標	20円
	25億円まで配当性向	30%	
	25億円超配当性向	40%	



中間配当	8円	8円	9円	9円	9円
期末配当	10円	10円	11円	11円	11円
年間配当計	18円	18円	20円	20円	20円

【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。